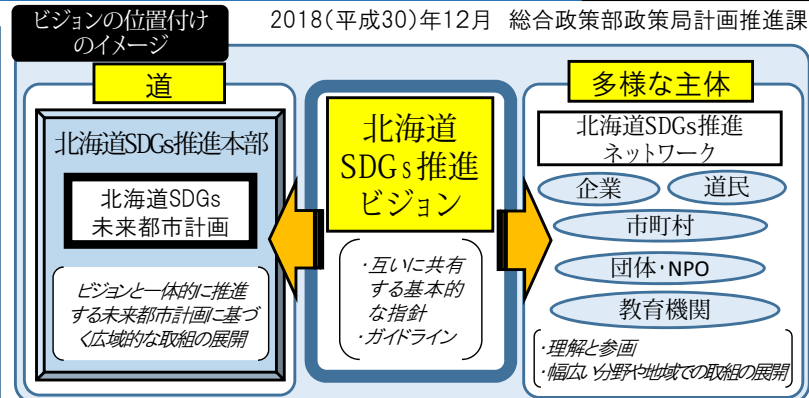


2018(平成30)年12月 総合政策部政策局計画推進課

- ① 策定の趣旨 [P1]**
 - 世界の中で存在感を高め、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくために、SDGsの推進が重要
 - 道民の皆様がSDGsについて考え、自らの行動につなげていくための指針としてビジョンを策定し、道民の皆様と共有しながら北海道全体でSDGsの推進を図る
- ② ビジョンの位置付け [P2]**
 - 道内の多様な主体が互いに共有する基本的な指針
 - 各主体の取組を促すためのガイドライン
- ③ 目標年 [P3]**

2030年 (国連の2030アジェンダの目標年)
- ④ ビジョンの推進 [P88~91]**
 - 多様な主体が参加する「北海道SDGs推進ネットワーク」などを活用し、SDGsの取組を拡大
 - 道は「北海道SDGs推進本部」の下、ビジョンに沿って多様な主体と連携・協働し、SDGsを推進
 - ビジョンの推進に当たっては、毎年度、ビジョンに掲げる指標の進捗状況はもとより、多様な主体による取組状況を一体的に管理し、必要に応じてビジョンを見直す



本道の「めざす姿」の実現に向け、SDGsと関連が深い現状・課題、価値や強みを多様な主体が共有し、北海道全体で取組を推進

優先課題Ⅰ あらゆる人々が将来の安全・安心を実感できる社会の形成 [P52~61]	
【対応方向】 i 医療・保健・福祉の充実 ii 平和な社会づくりの推進 iii 人々が互いに尊重し合う社会づくりの推進 iv 災害に強い地域づくりとバックアップ機能の発揮 v 安心して働ける環境づくりの推進	【主な取組例】(対応方向 i 関連) ・高齢者等が地域住民と交流し、互いに支え合う活動の場である共生型地域福祉拠点の形成 ・がん検診の受診率向上に向けた取組の実施 ・将来、地域で勤務しようとする医学生への修学資金の貸付
【対応方向】 i 豊かな自然と生物多様性の保全の推進 ii 地球環境保全の推進 iii 持続可能な生産と消費の推進	【主な取組例】(対応方向 i 関連) ・水環境保全に係る活動や植樹などの森林づくり活動の実施 ・希少種の保護や外来種対策の実施 ・エゾカキ等の適切な管理の実施
優先課題Ⅱ 環境・エネルギー先進地「北海道」の実現 [P62~66]	
【対応方向】 i 持続可能な農林水産業の推進 ii 地域産業の創造やイノベーションの推進 iii 中小・小規模企業の振興 iv 海外成長力の取り込みや多彩な地域資源の活用による持続的な経済の発展	【主な取組例】(対応方向 i 関連) ・多様な主体の連携によるスマート農業の推進 ・MSC認証取得による国際的な競争力強化 ・間伐や路網整備、伐採後の植林など森林資源の循環利用の推進
優先課題Ⅲ 北海道の価値と強みを活かした持続可能な経済成長 [P67~74]	
【対応方向】 i 子ども・青少年の確かな成長を支える環境づくりの推進 ii 地域や産業を担う人材の育成・確保 iii 男女平等参画・女性が活躍できる社会づくりの推進	【主な取組例】(対応方向 i 関連) ・児童生徒のスポーツの促進に向けたアスリートの派遣 ・学校の授業改善支援や学習指導の補助など学力向上に向けた取組の実施 ・いじめの未然防止や早期対応などに向けた取組の実施
優先課題Ⅳ 未来を担う人づくり [P75~80]	
【対応方向】 i 様々な連携で支え合う地域づくりの推進 ii 北海道独自の歴史・文化の継承やスポーツの振興 iii 国際協力や多文化共生の推進 iv 社会・経済を支える持続可能なインフラ整備の推進	【主な取組例】(対応方向 ii 関連) ・アイヌ文化の魅力発信や「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組の実施 ・オリパラなど国際大会に向けた選手の育成・強化
優先課題Ⅴ 持続可能で個性あふれる地域づくり [P81~87]	
【対応方向】 i 様々な連携で支え合う地域づくりの推進 ii 北海道独自の歴史・文化の継承やスポーツの振興 iii 国際協力や多文化共生の推進 iv 社会・経済を支える持続可能なインフラ整備の推進	【主な取組例】(対応方向 iv 関連) ・インフラ長寿命化や建築物の耐震化の推進 ・貨客混載の取組など乗合バス事業の生産性向上に向けた取組やバス運転手確保に向けた取組の実施

めざす姿 [P47]

世界の中で輝きつづける北海道

・「世界の中の北海道」として存在感を高める

・誰一人取り残さない、持続可能な地域社会を形成